

# 東京港の港湾物流の円滑な運営に関するご理解・ご協力のお願い

～ 東京港をご利用されている荷主の皆様へ ～

## トラックドライバーの時間外労働規制が適用となる2024年問題が差し迫っており、 トラックドライバーの不足により物流の停滞が懸念されます。

東京港では、コンテナふ頭の処理能力を大幅に上回るコンテナを取り扱っているため、時期や時間帯によってふ頭周辺で交通混雑が発生しています。このため、東京港では、交通混雑の緩和やトラックドライバーの待機時間の減少に向け、ハード・ソフトの両面から様々な対策に取り組んでいます。

具体的には、施設の処理能力を向上させるため、新規ふ頭の整備や既存ふ頭の再編整備を進めるとともに、コンテナターミナルへトラックが来場する時間を分散させるため、早朝ゲートオープンの実施（ターミナルの開始時刻を8時30分から7時30分に前倒し）、コンテナ搬出入予約制事業やWEBを活用した混雑情報の発信等の取組を実施しています。

### 上記の取組に加え、今後は荷主の皆様自身も混雑を避けた配送を意識いただくことが求められます。

【参考】物流効率化に取り組まなかった場合に不足する輸送能力試算（NX総合研究所調べ）

○2024年度

○2030年度

不足する輸送能力の割合

14.2%

不足する輸送能力の割合

34.1%

東京港では、「見える化システム」により、コンテナターミナルの混雑状況を公表しています。

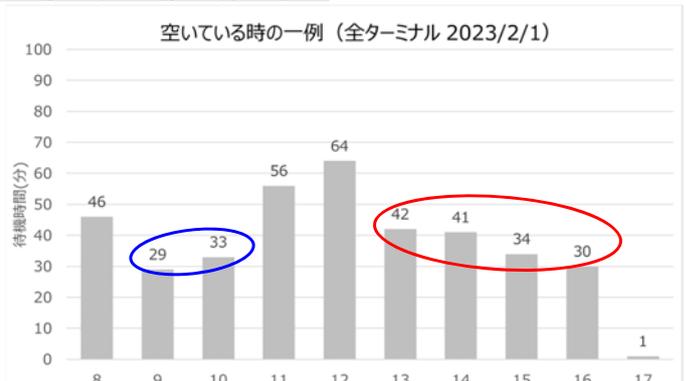
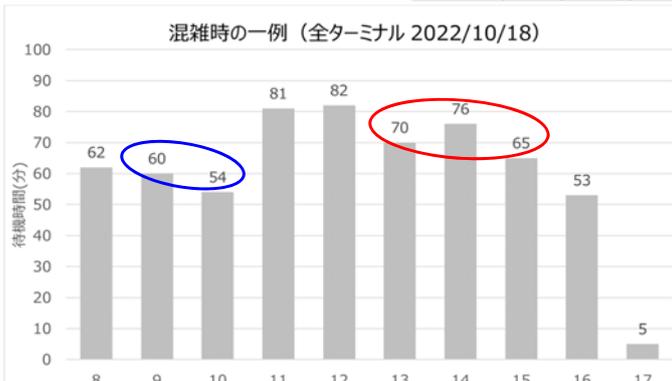
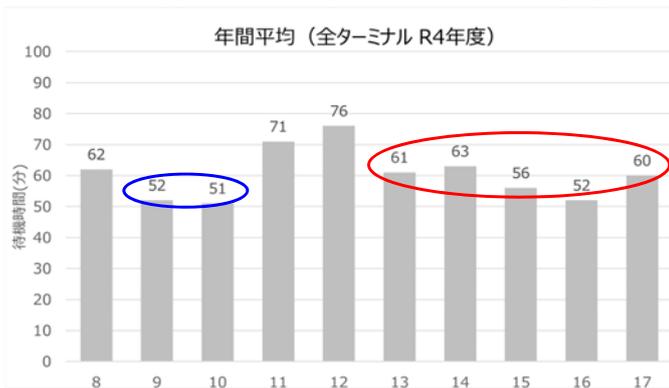
東京港の混雑傾向を知っていただき、混雑を避けた配送にご協力ください。

1

## ① 時間帯別平均所要時間

午前と午後で比較すると、午前中の方が所要時間(※)は少ない傾向にあります。

(※)所要時間…各コンテナターミナルに到着するまでの時間及びゲート入場から退場までの滞在時間の総計



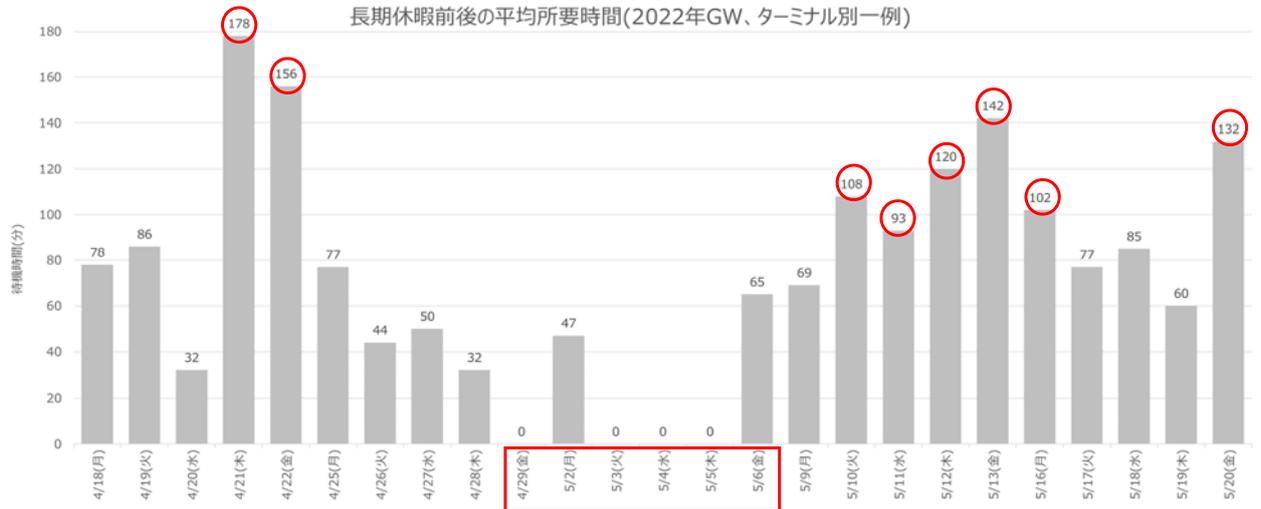
○11・12時台は昼休憩の影響により待機時間が長くなる傾向があります。

○8時台は、ゲートオープン（8時30分）より前から並んでいる車両が含まれるため、待機時間が長くなる傾向があります。

2

## ②長期休暇前後の平均所要時間

年末年始や大型連休の前後は混雑する傾向があります。



■ 時期や時間帯、大型船の入港状況によって混雑状況は異なります。

■ 東京都では、

「東京港コンテナターミナル所要時間等見える化システム」にてリアルタイムの混雑状況を公表しておりますのでご覧ください。

<https://mieruka-tokyoport.jp/tpt/>

東京港コンテナターミナル所要時間等見える化システム [リンクはこちら](#)



東京港コンテナターミナル所要時間等見える化システム

2024年1月17日 (水) 14時46分 掲載

ターミナル	所要時間	備考	ラッシュ
大月1・2期	20分	- 引ポートまでの距離：約3.3km ※北船渠からのラッシュを考慮し、昼間帯は、昼間帯のラッシュを考慮してあります。	
大月3・4期	3分	- 引ポートまでの距離：約3.3km	
大月5期	7分	- 引ポートまでの距離：約3.3km	
大月6・7期	0分	- 引ポートまでの距離：約3.3km	
西船渠A1	26分	- 引ポートまでの距離：約3.3km	
西船渠A2	32分	- 引ポートまでの距離：約3.3km	
西船渠B	15分	- 引ポートまでの距離：約3.3km	
中船渠	13分	- 引ポートまでの距離：約3.3km	
中船渠D	6分	- 引ポートまでの距離：約3.3km	
中船渠E	8分	- 引ポートまでの距離：約3.3km	
中船渠Y1	36分	- 引ポートまでの距離：約3.3km	
中船渠Y2	2分	- 引ポートまでの距離：約3.3km ※昼間帯のラッシュを考慮してあります。	

現在 1451台

### 【東京港の交通混雑の傾向】

- 輸入港である東京港では、コンテナターミナルから引き取った貨物を朝一番に納品するという配送サイクルから、納品前日の午後、特に夕方にコンテナターミナルへ来場車両が集中する傾向があります。
- 長期休暇前後では、配送を指示するタイミングが重なることで、コンテナターミナルへ来場車両が集中する傾向があります。

### 【荷主の皆様をお願いしたい内容】

東京港の交通混雑の傾向をご理解いただき、以下のとおり混雑する時間帯・時期を避けてコンテナ車両がターミナルに来場できるよう、納品時間を変更いただくなど、貨物の搬出入時間の分散化が可能なものについてご協力をお願いします。

＊ 比較的空いている午前中の時間帯での搬出入

＊ 長期休暇前後は、余裕をもった時期での搬出入